

## ○「低コスト林業の推進に向けた現地検討会」を開催

10月1日（木）当署と三八・上北流域林業活性化センターの共催により、高性能林業機械の普及による効率的な森林整備に向けた「低コスト林業の推進に向けた現地検討会」を、十和田市奥瀬字高崎国有林37林班外において開催し、県民局職員、市町村関係者、森林組合・林業事業者等の林業関係者約90名が参加しました。

今回で4回目となる現地検討会は、木材市況の低迷などから間伐が進まない現状を踏まえ、伐採・搬出作業等の低コスト化が最重要課題であると捉え、高性能林業機械等の普及と列状間伐の推進を図ることを目的に実施しているものです。

午前の報告会では、上北地域県民局より民有林における高性能林業機械の導入状況及び補助事業等についての説明があり、続いて、東北森林管理局青森事務所より、低コスト林業先進地である福井県の林業事業者「ネイチャー6」の視察の報告がありました。

午後からは(有)下久保林業の現場に移動し、列状間伐の実行済み箇所、ハーベスタによる伐倒・枝払い・造材作業、ウルトラザウルスロボによる低コスト作業路の作設作業を見学し、意見交換を行いました。

今回の検討会を通じて、高性能林業機械の普及や素材生産事業における低コスト化、さらに間伐の推進に繋がることを期待して、今年度の現地検討会を終了しました。



座学（十和田市十和田湖公民館）



列状間伐実施箇所



ハーベスタ作業の見学



ウルトラザウルスロボの見学